

## 令和8年度 科目選択資料集

### 芸術

#### 科目名

# 音楽Ⅱ

#### 履修条件

## 音楽Ⅰを履修していること

単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	900

#### 紹介

音楽Ⅰで学んだことからさらに幅を広げて、さまざまな分野について学習します。

表現、鑑賞ともに積極的に取り組む姿勢が重要です。

内容例を参照して、興味のある生徒は受講してください。

表現①歌唱：独唱、少人数のアンサンブル、多様なジャンルの歌曲

表現②器楽：ウクレレ、キーボードの弾き歌い

表現③創作：一人一台端末を使用した楽曲創作

鑑賞：西洋音楽、邦楽、民族音楽、舞台芸術に関わる音楽

音楽理論：音楽Ⅰをふまえた内容（コードネームなど）

#### 履修上の注意

・音楽Ⅰでの学習内容を理解、習得していることを前提に進めます。

・ペアやグループを組んで授業を実施することが多くあります。

・人前で発表する場面があります。

・次次年度に「音楽Ⅲ」を履修したい生徒は必ず履修してください。

#### 科目名

# 音楽Ⅲ

#### 履修条件

## 音楽Ⅱを履修していること

単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	900

#### 紹介

音楽Ⅰ、音楽Ⅱで学んだことからさらに幅を広げて、さまざまな分野について学習します。

表現、鑑賞ともに積極的に取り組む姿勢が重要です。

内容例を参照して、興味のある生徒は受講してください。

表現①歌唱：声の響かせ方、ポップス独唱、多様な言語による歌曲

表現②器楽：キーボードアンサンブル、ギターアンサンブル

表現③創作：一人一台端末を使用した楽曲創作

鑑賞：西洋音楽、邦楽、民族音楽、舞台芸術に関わる音楽

音楽理論：音楽Ⅰ、音楽Ⅱをふまえた内容（調性、音階、記譜法など）

#### 履修上の注意

・音楽Ⅰでの学習内容を理解、習得していることを前提に進めます。

・ペアやグループを組んで授業を実施することが多くあります。

・人前で発表する場面があります。

科目名			
<b>美術Ⅱ</b>			
履修条件			
美術Ⅰを履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	4500
紹介			
「美術Ⅰ」で学んだ基礎的な技能や知識をもとに、さらに創造的な表現力と鑑賞の力を伸ばし、多様な表現を工夫する力を養います。絵画彫刻からデザイン工芸、映像メディア表現まで幅広く学びます。美術系進学を考えている生徒は、作品数を増やすという点でもお勧めです。			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>実技科目です。授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・クラスルーム課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠席日数が少ない生徒が好ましいです。</li> <li>美術Ⅲを履修したい生徒は必ず履修してください。</li> <li>美術系以外にも、保育系やデザイン系（建築）、服飾系の人も、進学先で絵を描く機会があるという点と創造力を磨くという点から履修を勧めます。</li> </ul>			

科目名			
<b>美術Ⅲ</b>			
履修条件			
美術Ⅱを履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	4000
紹介			
美術Ⅰ、美術Ⅱの学習を踏まえ、美術Ⅲで必要な発展的能力をさらに深めます。基礎を大切にしつつ、作品制作や鑑賞することを通じて作家および自分自身の個性や独創性について考え、発想・構想する力を伸ばし、様々な技法を学び、自分らしい美術作品について追求します。美術系進学を考えている生徒はもちろん、美術作品制作が好きな人、今後の趣味にしたい人、発想力を磨きたい人はぜひ履修してください。			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>実技科目です。授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・クラスルーム課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠席日数が少ない生徒が望ましいです。</li> <li>授業中に人前で完成作品の発表をすることがあります。</li> </ul>			

科目名			
工芸 I			
履修条件			
工芸 I を履修していないこと			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	4500
紹介			
<p>使用する人や場などに求められる機能と美しさを考えながら作品づくりに取り組む授業です。  籠作り、革工芸、陶芸、彫刻作品等様々な素材を使った実際に使える工芸品を作ります。  物を作ったり、デザインすることが好きな人、手先を動かすのが好きな人、じっくりと作業に取り組める人は是非履修してください。  全体的に繰り返し作業が多い授業です。特に籠作りは繰り返しの作業が多いです。また、手先を使う細かい作業も多いです。オリジナルの絵をかいたりデザインしたりする作業もあります。カッターや糸のこ、彫刻刀、やすり等、多くの道具を使い作品を作ります。革工芸では針で縫う作業等もあります。  美術系進学（工芸系）を考えている生徒や工芸作品系の制作が好きな生徒はぜひ履修してください。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>染料や薬品を使う事があるため、皮膚が弱い人や手が汚れるのが困る人は向いていません。授業の際は基本的に爪を短くしておいて下さい。</li> <li>刃物を使うことがあります。先端恐怖症や刃物に触れるのが苦手な人は向いていません。</li> <li>繰り返し作業や細かい作業、丁寧な作業、絵を描く作業等が苦手な人には向いていません。</li> <li>授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／ プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時の多い生徒には向いていません。</li> </ul>			

科目名			
工芸 II			
履修条件			
工芸 I を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	5000
紹介			
<p>工芸 I で学んだ技能や知識を生かし、造形的な美しさや工芸の働きなどについて考えながら、意図に応じた制作方法を学びます。  籠工芸による籠作りや、金属や木工による彫刻作品、革工芸による作品作りを行います。  使いやすく、かつ美しい工芸品制作を目指します。  繰り返し作業や手先を使う細かい作業が多い授業です。根気強く作業ができる人に向いています。  美術系進学（工芸系）を考えている生徒や工芸作品系の制作が好きな生徒はぜひ履修してください。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>染料や薬品を使う事があるため、皮膚が弱い人や手が汚れるのが困る人は向いていません。授業の際は基本的に爪を短くしておいて下さい。</li> <li>刃物を使うことがあります。先端恐怖症や刃物に触れるのが苦手な人は向いていません。</li> <li>繰り返し作業や細かい作業、丁寧な作業、絵を描く作業等が苦手な人には向いていません。</li> <li>授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／ プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時の多い生徒には向いていません。</li> </ul>			

科目名			
<h1>工芸Ⅲ</h1>			
履修条件			
工芸Ⅱを履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	5000
紹介			
<p>工芸Ⅱまで学んだことを通し、生活文化と工芸との関わりを考えながら、創造的な作品作りに取り組みます。工芸Ⅱまでに学んだ素材とは異なり、樹脂や金属、木製マグカップなどの新たな素材を用いた制作等を行います。</p> <p>美術系進学（工芸系）を考えている生徒や工芸作品系の制作が好きな生徒はぜひ履修してください。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・染料や薬品を使う事があるため、皮膚が弱い人や手が汚れるのが困る人は向いていません。授業の際は基本的に爪を短くして下さい。</li> <li>・刃物を使うことがあります。先端恐怖症や刃物に触れるのが苦手な人は向いていません。</li> <li>・繰り返し作業や細かい作業や丁寧な作業、絵を描く作業等が苦手な人には向いていません。</li> <li>・専門性の高い作業が多いため、作業ごとに細かな締切があります。見通しをもって制作を進められる人が望ましいです。</li> <li>・授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／</li> <li>・プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時の多い生徒には向いていません。</li> </ul>			

科目名			
<b>書道Ⅱ</b>			
履修条件			
書道Ⅰを履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	4000
紹介			
書道Ⅰで学んだ技能や知識を活かし書の技能の応用的な内容を学びます。また、楷書・行書・草書に加え篆書・隸書での臨書や創作を行います。また、篆刻で落款印を作り作品作りに活かします。そして、注目すべき書道展・美術展に行き、作品の世界を実体験します。			
履修上の注意			
実技科目です。授業への取り組み・実技課題毎の作品製作・振り返りシート等の提出物・理論問題小テストから成績を出します。			

科目名			
<b>書道Ⅲ</b>			
履修条件			
書道Ⅱを履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	4000
紹介			
書道Ⅰ・Ⅱで学んだ五書体を基本にし古典作品の臨書と創作を体験をする。篆刻の歴史を学び自作品を彫る。書による多様な自己表現を体験する。			
履修上の注意			
実技科目であるので、臨書・創作など作品製作が中心となります。大型の作品など書道室での作業が重要です。授業の時間的有效に使いましょう。			

科目名			
<h1>幼児教育音楽入門</h1>			
履修条件			
特になし			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	
紹介			
<p>将来保育士や幼稚園教諭など、ピアノ実技を必要とする進路を目指すために、音楽の基礎的な力を身につける授業です。初級レベルの基礎的な音楽理論の習得、ピアノ実技を学習し、童謡等の幼児音楽を使って弾き歌いができるように進めていきます。</p> <p>授業内でピアノの技術を習得するためには個人での地道な練習時間が必要となります。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>人前での弾き歌いや手遊びなどの実技試験があります。</li> <li>ピアノ初心者向けの授業です。すでに高度なピアノ曲が弾ける生徒にはお勧めしません。</li> </ul>			

科目名			
<h1>幼児教育音楽発展</h1>			
履修条件			
幼児教育音楽入門を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	
紹介			
<p>将来保育士や幼稚園教諭など、ピアノ実技を必要とする進路を目指すために、音楽の基礎的な力を身につける授業です。幼児教育音楽入門で学んだ基礎的な音楽理論、ピアノ実技を発展させ、より高度な楽曲に取り組み、童謡等の幼児音楽の弾き歌いができるように進めていきます。</p> <p>授業内でピアノの技術を習得するためには個人での地道な練習時間が必要となります。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>発表形式での弾き歌いや手遊びの実技試験があります。</li> </ul>			

科目名			
<b>現代書</b>			
履修条件			
特になし			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	3	4000
紹介			
<p>硬筆の基礎となる毛筆で、漢字の楷書、行書、平仮名を学習します。</p> <p>硬筆のテキスト「ペン習字の基礎」を使用し、実用的な書（履歴書、手紙、葉書、短冊、色紙、うちわなど）を各々の書式に従って、それにふさわしい筆記具で学習する。 県の書道展に出品します。</p> <p>現代生活で必要とされるさまざまな実用的な書を一通り学んでおくことは、将来必ず役立つと思います。毛筆以外で書くことの好きな人たち、ぜひ履修してください。</p>			
履修上の注意			
<p>・実技科目です。毎時間の取り組み作品と振り返りシートの提出から成績が付きます。欠席の多い生徒は作品を完成させることが難しいので向いていません。</p>			

科目名			
<b>陶芸入門</b>			
履修条件			
特になし			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	2000
紹介			
<p>陶土（粘土）を扱い、制作技法を学びながら生活の中で使用できる器の制作を行います。前年度は、湯飲み、丼ぶり、ごはん茶碗、蓋つき小物入れ、ティーカップ等を制作しています。陶芸は粘土が乾かないように管理しながら制作していくので、一つの作品ができるまでとても時間がかかります。じっくり時間をかけてものづくりをしたい人に向いています。実際に陶土（粘土）に触れながら制作をしていくため、付け爪や爪が長い人は陶芸入門には向いていません。【履修上の注意】をよく確認してください。</p>			
履修上の注意			
<p>実技科目であるので、臨書・創作など作品製作が中心となります。大型の作品など書道室での作業が重要です。授業の時間的有效な使いましょう。</p>			

科目名			
<h1>陶芸発展</h1>			
履修条件			
陶芸入門を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	3000
紹介			
陶芸入門で習得した基礎をもとに、難易度の高い作品制作に取り組みます。彫刻的な表現、急須、絵付け、大きめの丼などレベルアップした内容になります。イメージした形を具体的に表現できる力を身に付けていきます。【履修上の注意】をよく確認してください。			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>陶芸入門で学習した内容を理解し、技術を習得していることを前提に進めます。</li> <li>授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。</li> <li>付け爪、長い爪は制作の支障となるため不可です。</li> </ul>			

科目名			
<h1>染織入門</h1>			
履修条件			
特になし			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	5000
紹介			
染織とは、染めたり織ったりする技術です。 前期は木枠を使って毛糸等で椅子敷を織る課題と、豆絞りや蜘蛛の巣絞り等を施したTシャツを藍の染料で染色する課題があります。 後期はトートバッグを型染で絵柄等を染める課題と、織機を使ってランチョンマット等を織る課題等があります。 全体的に繰り返し作業が多い授業です。特に織りは繰り返しの作業が多いです。また、手先を使う細かい作業も多いです。型染では絵をかいたりカッターで型紙を細かく切り抜きます。絞りでは針で縫う作業等もあります。そういう作業が苦手な人には向いていません。 美術系進学（工芸系）を考えている生徒や工芸・手芸作品系の制作が好きな生徒はぜひ履修してください。			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>実技科目です。授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時が多い生徒は向いていません。</li> <li>繰り返し作業や細かい作業が多い授業です。根気強く制作作業ができる人に向いています。</li> <li>針やカッターなどとがった道具が苦手な人は向いていません。</li> <li>薬品や染料等によっては臭いがあります。</li> <li>染色では手袋を用意しますが、手や爪が汚れる可能性があります。</li> <li>制服が汚れないように学校指定ジャージやエプロンを用意してもらうことがあります。</li> </ul>			

科目名			
<h1>染織発展</h1>			
履修条件			
染織入門を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	6000
紹介			
<p>染織入門で習得した基本をもとに、レベルアップした内容の課題制作を行います。</p> <p>織機を一人一台使用してかばんの生地の制作や、羊毛フェルトでコースターの制作などを予定しています。</p> <p>染織入門で染織が楽しい、もっとやりたいと思った人、学んだことをより深く学びたい人、積極的に学びたい人は、ぜひ履修してください。</p> <p>繰り返し作業や手先を使う細かい作業が多い授業です。根気強く作業ができる人に向いています（染織入門より大きく、手間がかかる作品の制作があります）。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>実技科目です。授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時が多い生徒は向いていません。</li> <li>繰り返し作業や細かい作業が多い授業です。根気強く制作作業ができる人に向いています。</li> <li>針やカッターなどとがった道具が苦手な人は向いていません。</li> <li>薬品や染料等によっては臭いがあります。</li> <li>染色では手袋を用意しますが、手や爪が汚れる可能性があります。</li> <li>制服が汚れないように学校指定ジャージやエプロンを用意してもらうことがあります。</li> </ul>			

科目名			
<h1>コンピュータグラフィックス入門</h1>			
履修条件			
特になし			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	2	1200
紹介			
<p>パソコンでAdobe Photoshopという画像編集ソフトを使い、ポスター やグラフィック作品等の作品を制作しながらコンピュータグラフィックスの基本を学びます。</p> <p>これからの時代に大切な『考える（発想する）力』を大切にする授業ですので、作品制作を通じて条件にあったオリジナルのアイデアや案を多く考えて描きます。</p> <p>美術系の授業なので、イラストを描くことがあります。写真加工では丁寧で細かい作業が大切になります。連続した時間集中して、パソコンでの制作作業ができる人に向いています。</p> <p>また、デジタルはアナログより修正作業がしやすいという特性を生かし、構図・色彩感覚を磨き、グラフィックデザインの基礎を学びます。絵を描いて終わりでなく、他者から見てどうかという視点を持って、よりよい作品を作るために柔軟に対応し、試行錯誤して制作を進めます。</p> <p>美術系進学（特にデザイン・イラスト系）を考えている人は、ぜひ履修してください。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>CG発展を履修したい生徒は必ず履修してください。</li> <li>実技科目です。授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・クラスルーム課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時が多い生徒は向いていません。</li> <li>美術系以外にも、進学先や就職先でパソコンで制作をする可能性がある人にも履修を進めます。</li> <li>パソコンを使用しますが美術系の科目です（情報系ではありません）。条件にあったオリジナルのアイデアを考え、試行錯誤しながら絵やイラスト等を描いたり写真加工をして作品を作る授業です。</li> <li>イラストを描くための授業ではありませんので、イラストの描き方等は行いません。</li> <li>パソコンでの文書入力等も多くありますので、パソコンの基礎知識があり、基礎操作ができる方が望ましいです。</li> </ul>			

科目名			
コンピュータグラフィックス発展			
履修条件			
コンピュータグラフィックス入門を履修していること			
単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	3	-	1000
紹介			
<p>コンピュータグラフィックス入門の発展科目です。入門で学んだことを活かし、より実践的な作品を制作します。また、Adobe Illustratorの基礎を学び、テキストと画像を組み合わせたレイアウトの作成やデザイン、パスを使って描く線や図形を組み合わせたイラストの作成をします。</p> <p>コンピュータグラフィックス入門を履修して、もっとCG作品を制作したいと思った人、面白いと思った人、より深く学びたいと思った人や美術系（特にデザイン・イラスト系）進学を考えている人はぜひ履修してください。</p> <p>連続した時間、集中してパソコンで制作作業ができる人に向いています。</p>			
履修上の注意			
<ul style="list-style-type: none"> <li>実技科目です。授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・クラスルーム課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。欠時の多い生徒は向いていません。</li> <li>美術系以外にも、進学先や就職先でパソコンで絵を描く可能性がある人にも履修を進めます。</li> <li>パソコンを使用しますが美術系の科目です。条件にあったオリジナルのアイデアを考え、試行錯誤しながら絵やイラスト等を描いたり写真加工をして作品を作る授業です。</li> <li>パソコンでの文書入力等も多くありますので、パソコンの基礎知識があり、基礎操作ができる方が望ましいです。</li> <li>Illustratorは、ドロー系ソフトではありませんので、入門とは違いペンタブ等を使ったイラスト制作では、ありません。</li> </ul>			

## 令和8年度 科目選択資料集

### 音楽（専）

#### 科目名

# 声楽

#### 履修条件

#### 特になし

単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	3	

#### 紹介

声楽の専門的な技術である発声法、呼吸法、リズムの取り方などを学びます。

J-POPなど馴染みのある楽曲を使用して、豊かな響きと表現力を追求していきます。ソロだけではなくゴスペルなど数人によるアンサンブル活動に取り組み、より高度に楽曲を理解し、表現する楽しさを学びます。

声を使った表現を追求したい人、ある楽曲を通して歌唱技術を高め、ハーモニーを作るなど音感を高めたい人はぜひ履修してください。

#### 履修上の注意

- 実技試験や発表など、人前での演奏発表があります。

## 令和8年度 科目選択資料集

### 美術（専）

#### 科目名

# 絵画

#### 履修条件

#### 特になし

単位数	対象年次	年次優先枠	(参考) 前年度教材費
2	2,3	3	6000

#### 紹介

美術系の進学を目指す人、絵が好きでもっと力を伸ばしたい人に向いています。授業では「観察して描く力」を高めていくため、人物クロッキー、デッサン（静物・石膏・自画像）について取り組んでいきます。また、絵の具による表現力を高める課題（模写・静物・想定課題）にも複数作品取り組み、作品の完成度を高めていきます。授業の中で発表・レポートの課題があります。

#### 履修上の注意

- ・平面作品（絵）制作がメインの授業です。絵を描くのが好きな人は楽しめます。
- ・授業への取り組み態度／実技課題毎の制作作品・振り返りシート等の提出物／プリント課題・記録シート等の提出物から成績が付きます。